

る話し合いもたびたび行われ充実した1年でありました。

コミュニティ推進協議会は、今後大代地区全体の広域自治組織として活動することを目指し、新たな事業に挑戦するなど、これまでの事業よりもさらにパワーアップして幅広い年齢層の方に参加して頂けるものを企画したいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

二〇二二年の山行記述

大代東区町内会

会長 三浦 徳男

歩いた山を感じたままを書いてみようとの思いで、記述してみました。

年始めの元旦登山は、加美町の葉菜山でしたが駐車場に行つて人の多さに大変驚きました。50cm以上の積雪はあったようですが、山頂まで人が繋がっており、休むことも追いつくこともできませんでした。山頂に着いた時は、天気が良い、風もなく、待つこと約10分、新年にふさわしい初日の出を見ることができました。今年も家内安全と安全登山ができるように、手を合わせ安全を祈願しました。山頂で加美町の職員が、250名限定に葉菜神社のお札と葉師の湯の入浴券、それにお汁粉券を振る舞っております。因みに私は73

番でした。帰りは迂回コースを下りてきましたが、入浴してお汁粉を御馳走になっていると、年配で面識のない男性から「三浦さんですね」と声を掛けられた。今日で3回目、今回の天気が一番良いと言っていました。その後の話でその方は、多賀城市の方で年は83歳、一人で車を運転して来たとのことでした。私が引率して登った市民登山に何回か参加している方でしたが、それにしても一人で暗い道を：元氣ですね。自分はその方の年まであと何年ある：果たしてその年齢で元旦登山に行く気になれるだろうか。それにしても偉い。

2月の厳冬期に、仲間と蔵王の不忘山（1700m）に行きました。冬山の厳しさはいつも覚悟して行きますが、想像以上の猛吹雪で何とか頂上まで辿り着いたけれども、風で足跡は消され道に迷つてしまい右往左往しましたがナビに助けられ命拾いました。一時はどうなるかと思いましたが、いつもであれば赤布を竹などに巻いて刺しながら登り、下りに最後の方が回収するものですが、：、人が多いということ油断したんですね。3月に福島の実輪山に行ったときも風とガスで前に進めず、やむなく頂上を諦めました。冬山は天気が良いと夏山にない静けさと美しさがあり冬山もいいんですが、その後、3月に山形県蔵王温泉スキー場に女子ワールドカップ

のジャンプ大会を見に行きました。その時は天気が良く、実際の飛ぶところを近くで見ることが出来てとても良かった。それにしても、若い女があの高いところから飛ぶ度胸がどこにあるのか、外国選手と競う高梨選手の活躍が目立った大会でした。しばらくぶりでスキーを堪能することができました。

8月初め、長野県木曾山脈の中央アルプス（2900mの山並み）へ、若い二人と久々の夜行バスを利用しての山行で、新宿からは中央道（先のトンネル崩落事故の笹子トンネルを歩き来していた）から長野道を通り、駒ヶ根市まで行き、タクシー、ロープウェイを乗り継ぎ、木曾駒ヶ岳へ登り、ここから宝剣岳、空木岳まで縦走をしたのです。4日間最高の天気に恵まれ、いつか歩いた北や南アルプス、八ヶ岳連峰、遠くに富士山などを360度の展望を楽しみながら登りました。しかし、岩場が多く厳しい登り下りの連続で、危険を伴うコースもあり、私は若い二人に負けじと頑張ったけれども勝てなかった。大分疲れましたが充実した山行きをして帰ることができました。

9月初めには、宮城福島山形の3県に跨る龍ヶ岳（994m）と七ヶ宿のスキー場から登る峠田岳（1082m）に行きました。メーイルで紹介された中に、猿の集団に威嚇され

て戻った方もいるとのことを聞いて、警戒する必要があると思いい心して行きました。東北道飯坂インターチェンジから国道399号線を朝8時前、摺上川ダム沿いを通っていた時に猿の集団と遭遇したのです。その数100匹以上かも知れませんが、猿は3、40匹が一つの集団と聞いていたのでその多さにびっくりしました。昨日か今朝生まれたばかりと思われる赤ちゃんを抱っこしていた猿が3匹連れでいたのです。お母さんのお尻は血で真っ赤になっていました。今まで猿の集団に会ったことや威嚇されたことはあったが、こんなに多くの数や赤ちゃんに出あったのは初めてでした。

10月初めには、テントを積んで岩手県西和賀町（旧沢内村）の真昼岳と女神山を登ったし、山形の蔵王温泉スキー場北側の龍山や天童市の水晶岳、栗原市のお駒山、七ヶ宿町の蛤山などを歩きましたが、比較的天気に恵まれた方かもしれません。

また若い二人と一緒に歩いてみようかなと思っています。



人物往来（第八回目）

大代中区町内会

会長 小野 菊郎

鈴木弘さんが、今年も大輪の菊を作ってグループホーム貞山みよりの家、大代地区公民館、恵愛ホームへ寄贈されました。そこでグループホーム貞山みよりの家所長 佐藤洋子さんから御礼の手紙を頂戴しましたので皆様に紹介いたします。

大菊の鉢植えを寄贈され感謝

グループホーム貞山みよりの家

所長 佐藤 洋子

地域の方々には日ごろ、大変お世話になっております。

大代中菊の会代表 鈴木弘様より今年も菊の花（鉢）を寄贈して頂きました。毎年丹精込めて育ててくださり、特に今年は、昨年の大津波にも負けず、育てていただき特別の想いがあります。

大輪の花を見事に咲かせ、とても気品高く見えます。ホームの玄関に飾られている花は、玄関を華やかにするとともに元氣も頂いております。

ご利用者様やお客様が足を止めては、花の見事さに感激されておりました。毎年美しい花を見せて頂き、ご利用者様、

スタッフ一同感謝しております。本当にありがとうございました。

中区防災訓練を終えて

大代中区町内会

会長 小野 菊郎

中区では、大震災から1年8ヶ月経過した11月11日に防災訓練を実施しました。

訓練の目的は、

一 参加することは共助であり自助につながることに。

二 家族ぐるみ（子供さんも）で参加すること。

三 避難困難者も支援者と一緒に参加すること。でした。

訓練の内容は、支援者、班長、役員70名が全世帯を訪問しての事前広報訓練、消防団による広報活動訓練、共助の意識向上をねらいとした班長、役員を先頭にした班単位の集団避難行動、避難困難者を車両で搬送する訓練、会場の東小学校体育館では、避難所運営を避難者自らが行う会場設営、食料等支援助物資の配布訓練、防災ラジオ操作実演、非常持ち出し袋点検、会場内清掃等の訓練体験を実施し、最後はビンゴゲームで終了としました。

参加者は、111世帯、185名（内子供35名）で、その他消防署員など13名、総数19

8名による避難訓練となりました。

参加者の特徴は、非常持ち出し袋をほとんどの方が持参されたこと。特に避難困難者は、お薬手帳を袋に入れ持参されたこと。共助が自助につながることを体験されたこと。子供さんを同行して訓練に参加された若い保護者が多数おられたこと。35名の子供さんが実際に避難訓練を体験したことです。

昨年の大震災を経験し、自宅での食・水等の準備が進んでおり、災害時の対応が家庭内で話題になっているものと判断されます。

避難訓練の4時間は、自助と共助の行動から、地域で生活する上での潤滑油になったのではないかと思います。

ご協力頂きました消防署、多賀城市、消防団の方々には厚く御礼申し上げます。今後の課題は、指導者の育成、情報の収集と伝達を確実に実施できるよう訓練の中に取り入れること。食料・水を3日分自宅で備蓄することの徹底、非常持ち出し品を常備しておくことなどです。

今後も訓練を重ね、安心、安全な地域づくりに努めるよう、住民一心を心がけていきたいと心しております。



宮城県老人クラブ連合会長から 表彰状授与

第一百寿会々員

大代南区 渡邊 清

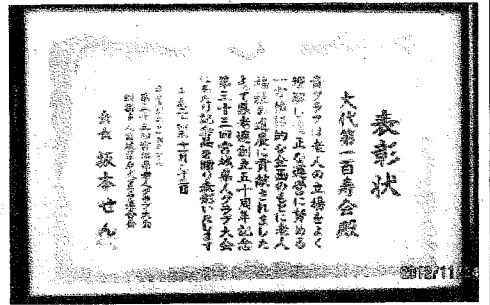
過日、11月22日宮城県老人クラブ連合会創立50周年記念・第33回宮城県老人クラブ大会・七ヶ浜大会に参加することができましたので、ご報告いたします。

今回のテーマは、創造と連帯の輪を広げて「心豊かな21世紀を」でありました。仙台市を除く（仙台市は政令指定都市のため独自の市老連創設）県内12市21町1村計34市町村での県内単老クラブ数1296団体、会員数53529名の中から、今大会の会場七ヶ浜国際村に570名の会員が参加し、会場は満席となりました。多賀城市老連は、11名が割り当てられ、その中で第一百寿会は受賞クラブでしたので、荒木会長以下3名が参加することができました。大会の第1部ではオープンングアトラクションがあり、七ヶ浜町老人クラブ連合会の皆さんによる大正琴、フラダンス、演歌や踊りが続き、最後は七ヶ浜音頭と舞台の上は、盛り沢山の華やかさとなりました。

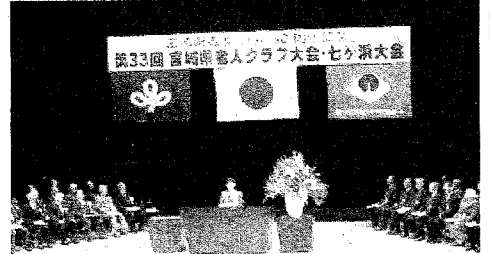
第2部では、式典が開会され大会会長坂本せん宮城県老連会長式辞、大会名誉会長村井嘉浩宮城県知事挨拶に続き表彰式がありました。

た。受賞されたのは、①個人の部老人福祉事業功労者34名 ②優良老人クラブ団体30団体、ここで大代第一百寿会が受賞しました。③社会貢献活動11団体、以上の個人及び団体に表彰状が授与されました。続いて来賓の方々の式辞、祝電披露、受賞者代表謝辞、最後に大会宣言を参加者全員で実践を誓い、宣言し、盛会に終わりました。

さて、われわれの大代第一百寿会が今回の県老連創立50周年記念・第33回県老連大会において優良老人クラブ団体として県内単老クラブ1296団体の中から選ばれたことは本当に喜ばしいことでもあります。これも第一百寿会荒木慶蔵会長を中心に年間活動目標①健康、友愛、奉仕の心②仲間づくりを基本とした会員加入③寝たきり会員にならない健康維持、以上の目標に向かって活動し、特に今年度からの月例お茶会等には、多賀城市出前講座を利用した各種講座で勉強会実施の参加率52%を達成いたしました。これは、役員の方々の積極的な活動と会員がこれに応えるよう和気藹藹と活動している姿が今回の受賞につながったものと思われまます。これからこの受賞に恥じないよう会員一同良き老人クラブ育成に努めて行きたいと思えます。



坂本老連会長から授与された表彰状



整然と行われた大会式典開会の様子

平成24年の大代地区の防犯情勢

大代駐在所 所長 武田 一貴

犯罪発生について

平成24年中(11月末現在)の大代駐在所管内での刑法犯認知件数は20件、内容は窃盗17件(内訳:方引8件、乗り物盗(オートバイ、自転車)4件、車上ねらい2件、その他の屋外盗(軽油、灯油盗)3件、器物損壊3件)です。塩釜警察署管内では、昨年よりも刑法犯認知件数が増加に転じています。特に乗り物盗が急増しています。アパートの駐輪場、大型商業施設などで盗まれる事件が増えています。自転車やバイクにはツーロックを心がけましょう。

年末年始は、強盗やひったくりなどの悪質犯罪が発生しやすい時期でもあります。ちょっとした油断の際の「ひったくり」や、帰省

や旅行等で長期間家を空けた際の「空き巣」に注意しましょう。

交通事故について

大代駐在所管内の平成24年中(11月末現在)の人身事故は30件、内訳は1件が重傷で残りは軽傷、死亡事故はありません。物損事故は、167件と昨年より増加しています。場所の特徴として、大代5丁目、笠神5丁目の県道沿いの信号機の無い交差点での発生が多いです。

次にコンビニや大型スーパーマーケット内の駐車場で。発進や後退時に隣の車両と接触する事故が増加しています。身近なところに交通事故の原因が潜んでいます。ちょっとした気の緩みで、車が来ないと思いついたり、安全確認をし忘れたり、特に中高年のドライバーの事故が増えています。家庭で話し合って家庭から交通事故ゼロを目指しましょう。12月に入り、何かと飲酒の機会も増えると思いますが、皆さんに必ず守ってもらいたいことがあります。それは

- 一 飲酒運転しない
- 二 飲酒運転をさせない
- 三 飲酒運転車両に乗らない

の3点です。

「一杯だけなら大丈夫」は通用しません。「二日酔いも飲酒運転」です。

12月に入り、塩釜警察署管内で2日連続飲酒運転で逮捕者が出ています。これ以上不幸な人を生み出さないようにみんなで防ぎましょう。



(子供シリーズ) お正月に向けて

多賀城東小学校5年

大代東区 金澤 采桜

私がお正月に向けて頑張りたいことは2つあります。1つ目は、ママのお手伝いをたくさんして料理が上手になることです。2つ目は、お正月が楽しくなるように病気にかからないことです。

次に、お正月にしたいことが4つあります。1つ目は、お年玉をもらって、いろいろお買い物したいです。2つ目は、お正月に向けてママと一緒に節約料理を作り、岩手のおばあちゃん、おじいちゃんの家に行ってみてください。3つ目は、おばあちゃんを作ってくれたおもちゃを食べたいです。おばあちゃん、毎年お正月に帰ると何

種類ものおもちを作ってくれます。私はとくにお雑煮が大好きです。そして4つ目は、年賀状をもらうことです。理由はもらった年賀状を見るとうれしくなるからです。今年もお正月がすごく楽しみです。

大代の歩み (五十四)

大代南区 渡邊 巖

昭和一二年七月、中国北部の盧溝橋事件によつて日中全面戦争に突入したが、政府は同年九月、内閣告諭と訓令により『国民精神総動員運動』を開始し、その後戦争の長期化に伴い昭和一三年四月に公布された『国民総動員法』によつて戦争政策を全国民に周知徹底させるため、昭和一五年九月末端組織として部落会・町内会・隣保班(隣組)・町内常会の設置を各都道府県に通達した。

隣保班(隣組)は、一個班を一〇戸内外で組織して常会を開き、上級機関からの通知の周知徹底、特に戦時体制への協同実行が図られ、地方行政の末端機関として制度化されていった。(戦後、地域により『町内会』『回覧板』は現存)。

当時、多賀城村は人口七千九百余人で総面積は一千九七〇ヘクタール余の農村であった。地勢は東北部の小高い丘陵部から南西に向かつて平野が広がる極めて平坦な土地で、村の

総面積の半分以上は農地で占められていた。

そして地価が安く、労働力も安く供給できること、そのうえ、交通機関も東北・常磐の両線が近く、村の中心部を『宮電』と『塩釜線』の二本の鉄道が通り、さらに塩釜港には五千トン〜一万トン級の船舶も入港可能と、工場立地には極めて恵まれた地域環境であった。

大陸での事変によつて全面戦争に突入した軍部は、戦争による軍需の拡大と生産力の増強に邁進していた折から、昭和一六年一二月八日太平洋戦争が勃発した。

予てから、長期戦に備えて軍需品の生産力増強のため多賀城村内に軍需工場の増設を計画していた日本海軍は、此の計画を具体化するため村内外の地形等について航空測量を含む綿密な現地調査を行い、軍需工場(海軍工廠)建設用地と付帯施設用地の買収(何れも強制)に取りかかった。

続く

ふれあい短歌 (正月編)

大代西区 藤田 遊子

水清き貞山運河に初日射し

初鶴群れて翔び立ち行けり

新妻の陸奥原に若菜つむ

風に揺れるる後れ毛床し

お知らせ

○大代地区公民館の休館日について

12月28日(金)から1月4日(金)までの間、年末年始の休館となりますのでお知らせいたします。自動交付機も休止します。

○大代地区公民館の職員に異動がありました。

佐々木民男さんの退職に伴い、12月1日付で新たに川村安雄さんが勤務することになりました。宜しく願います。

○柏木神社のどんと祭について

日時 1月14日(月)

時間 午後5時から6時30分

松飾りは、当日の朝8時から受付します。

ビニール、プラスチック等の化学製品は全て取り除いてください。

【編集後記】

昨年中は、ご寄稿頂いた方々並びにご愛読頂いている皆様に心から感謝申し上げます。

平成25年はさらに地域の話題やお役立ち情報をより多く掲載し、楽しく読んで頂けるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

(編集委員一同)